

## 日本鉄鋼協会の分譲品について

目下会誌のバックナンバーそのほかの刊行物及鉄鋼標準試料の在庫品が下記の通りありますので、御希望の方は協会宛分譲価格および送料を添えて至急御申込下さい。残部の少いものもありますので品切の節は御容赦下さい。

### I. 会誌その他の刊行物在庫品

#### 会 誌 『鉄と鋼』

		分譲価格	送料
第 10 年 (大正 13 年)	2, 5, 8, 10, 11, 12 月号	100 円	8 円
第 11 年 (〃 14 年)	3, 6 月号	〃	〃
第 12 年 (〃 15 年)	4, 6, 9, 11 月号	〃	〃
第 21 年 (昭和 10 年)	9, 11 月号	〃	〃
第 22 年 (〃 11 年)	3, 6, 11 月号	〃	〃
第 23 年 (〃 12 年)	4, 7, 8, 9, 11, 12 月号	〃	〃
第 24 年 (〃 13 年)	2, 3, 4, 5, 6, 7, 11 月号	〃	〃
第 25 年 (〃 14 年)	12 月号	〃	〃
第 26 年 (〃 15 年)	3, 8, 9 月号	〃	〃
第 27 年 (〃 16 年)	5, 6, 7, 8 月号	〃	〃
第 28 年 (〃 17 年)	5, 6, 8 月号	〃	〃
第 29 年 (〃 18 年)	(欠)		
第 30 年 (〃 19 年)	1~2, (合冊)4, 5, 6, 7, 8~9(合冊) 月号	〃	〃
第 31 年 (〃 20 年)	(発行中止)		
第 32 年 (〃 21 年)	4~6, (合冊) 10~12(合冊) 月号	〃	〃
第 33 年 (〃 22 年)	1~3, (合冊)4~6, (合冊)7~9(合冊) 月号	〃	〃
第 34 年 (〃 23 年)	1~3, (合冊)4~6, (合冊)9, 11, 12 月号	〃	〃
第 35 年 (〃 24 年)	1, 2, 3, 6, 8, 9, 10, 11 月号	〃	〃
第 36 年 (〃 25 年)	3, 9, 12月号	〃	〃
第 37 年 (〃 26 年)	1, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12 月号	〃	〃
第 38 年 (〃 27 年)	3, 6, 7, 9, 11, 12 月号	〃	〃
第 39 年 (〃 28 年)	特 2, 3, 4, 5, 6月号	150	〃
第 40 年 (〃 29 年)	特 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10, 11, 12 月号	150	〃
第 41 年 (〃 30 年)	特 特 特 2, 3, 7, 8, 9, 10, 11, 12 月号	150	〃

(7月号は戦後 10 年間におけるわが国鉄鋼技術の進歩)

特別号は 300 円 送料16円

#### その他の刊行物

会誌「鉄と鋼」総目録 (自第1年~至第20年)	300 円	40 円
T. L. Joseph の “Pelletizing of Iron Ore Concentrates”	200	8
第1回鉄鋼計測講習会テキスト	500	16
会員名簿 (昭和 29 年 1 月 1 日現在)	150	16
Tetsu to Hagane abstracts No. 1 (1951)	200	16
〃 No. 2 (1952)	300	16
〃 No. 3 (1953)	300	16
バンキング研究会報告	200	16
鉄鋼対策技術委員会報告	200	16
酸素製鋼法の研究	300	16
〃 圧延鋼材に発生する疵の分類	80	8

最近に於ける平炉製鋼法の進歩 (製鋼部会報告)	650円	80円
鋼材圧延用鑄鉄ロールに関する研究 (鑄物部会ロール研究会報告)	520	48

## II. 鉄鋼標準試料在庫品

鉄鋼標準試料については一部品切のため需要家の皆様に御不便をかけておりましたが、その後鋭意整備に努力いたしまして近く 22 種の試料全部に亘り御希望に添い得るようになる見込であります、目下のところ下記○印の分は在庫がありますので御希望の向は御申込下さい。

日本鉄鋼標準試料分譲価格表 (炭素鋼は凡て塩基性平炉鋼たること)

品 名	塊入重量 (g)	1本の価格 (円)	品 名	塊入重量 (g)	1本の価格 (円)
○第1号炭素鋼 C=0.1%	150	3,000	第12号低磷銑鉄 C=4.07%	150	2,000
第2号炭素鋼 C=0.2%	150	3,000	第13号フェロマンガ	150	2,200
○第3号炭素鋼 C=0.4%	150	3,000	○第14号フェロシリ	100	2,200
○第4号炭素鋼 C=0.6%	150	3,500	第15号フェロクロ	150	2,200
○第5号炭素鋼 C=0.8%	150	3,500	第16号フェロタン	150	2,900
第6号銑鉄	150	1,800	第17号フェロチ	150	2,200
○第7号白銑鉄 C=3.9%	150	2,000	第18号フェロモ	150	2,700
○第8号クロム鋼	150	2,700	第19号フェロワ	150	2,300
第9号高速度鋼	150	3,200	○第20号フェロ	150	2,000
第10号ニッケルクロム鋼	150	2,700	○第21号鉄 鉍 石	150	2,000
○第11号タングステン鋼	150	2,900	第22号マンガ	150	1,600

送料は4本まで 100 円 (書留小包)

## 日本建築学会創立 70 周年記念

### 論文懸賞募集

日本建築学会より下記周知方依頼がありましたので会員諸賢へお知らせします

「本会は来る4月9日を以て、創立70周年を迎えるに当つて、記念行事の一つとして下記の規定により懸賞論文を会員はじめ広く一般の方々から募集しますから奮つて応募下さい。

#### 募 集 規 定

1. 題 目 「将来の建築」

副題目をつけ、それぞれの専門的立場から論じられてもよい。

2. 趣 旨

近代の科学技術の進歩によつて、物代の人間の生活環境は根底的に変貌しつつあります。この時代に処して、わが国の建築が将来如何なる方向をもつて進むべきかと言うことについては、建築の専門家はもとより、一般の方々にも興味ある問題でもあり、また種々なイメージをもたれていることゝ思われます。本会はこの意味から日本の建築の発展進歩に示唆を与える所論を募り、わが国の建築が将来に飛躍し、かつ進むべき指標を得ようとするものであります。

3. 論文の長さ 400 字詰原稿用紙 18 枚以内 (図表、写真を含む)

4. 締 切 昭和 31 年 6 月 12 日

5. 賞 金 入選 5 篇、賞金各 20,000 円 (他に佳作をもうけることがある)

6. 審 査 本会学術部会

7. 発 表 入選発表は 7 月 20 日とし論文は建築雑誌々上 (昭和 31 年 8 月号) に掲載する。なお他誌に併せ発表することもある。

8. 論文提出先 日本建築学会記念論文係 (東京都中央区銀座西 3-1)

9. その他 応募論文は希望によつて返却する。」